

瀬良英介の一般業界向け

飼料・畜産トピックス（204）

2009年3月

（204）米国のミート・サイエンス—世紀の歴史はニューフロンティアへ向かう

米国のミート・サイエンス分野での過去100年の研究開発は、畜肉や鶏肉の生産、処理加工、商品化とマーケティング、消費面に革命的な変化をもたらしました。ミートサイエンスを大学で教える教科を1894年に最初に設置したのはミネソタ大学でした。米国畜産学会が設立されたのがほぼ100年前ですから、畜産学会員が研究開発にかなり貢献したと言っても過言ではないでしょう。

下記の表はネブラスカ大学のピアマン教授がミートサイエンスを導入した大学を10校列記し、導入年代を載せた表です。アイオワ州立大学は私の母校ですが、ミートサイエンスを8番目に導入しています。アイオワ州立大学がアイオワ州エームス市に設立されたのは、導入年代より60年前の1858年（安政5年）で、江戸時代後期から明治天皇（1867年）の前の孝明（こうめい）天皇時代です。

1925年になると大学27校が多角度からミートサイエンスを捉えて協力しあって研究するようになります。ピアマン教授は、これらミートサイエンスの米国での歴史的背景を簡潔に纏めていますが、畜産飼料に携わるものにも参考になり示唆に富んでいます。ここでは、中身を御紹介すると内容に偏りが出てしまいますので、興味のある方は7ページの論文を参照なさることをお勧めします。出典は、米国畜産学会（J. Anim. Sci. 2009. 87:1192-1198）です。

表 初期にミートサイエンスを導入した米国の（ランドグラント）大学（D. H. Beermann論文より、瀬良）

	大学名		導入年代
1	ミネソタ大学	University of Minnesota	1894
2	イリノイ大学	University of Illinois	1902
3	ミシガン州立大学	Michigan State University	1907
4	ペンシルバニア州立大学	Pennsylvania State University	1912
5	オハイオ州立大学	The Ohio State University	1913
6	コーネル大学	Cornell University	1915
7	コロラド州立大学	Colorado State University	1918
8	アイオワ州立大学	Iowa State University	1918 創立60年後
9	ケンタッキー大学	University of Kentucky	1918
10	北ダコタ州立大学	North Dakota State University	1919

因みに、ランドグラント、つまり、連邦政府より土地を貸し与えられた大学には州立と

という言葉がつくのとそうでないのとありますので誤解されやすいのですが、これらは俗に日本で言うところの昔の国立大学と農事試験場を一緒にしたような大学機関のことです。例えば、イリノイ大学はランドグラント大学ですが、表にはないイリノイ州立大学というのは、連邦政府が農学部土地を貸し与えていませんから、純然たるイリノイ州による州立大学です。アイオワ州の場合は、アイオワ州立大学がランドグラント大学で、アイオワ大学はランドグラント大学として農学部を持っていません。これらの農学を重要視した歴史的背景やそれを推進した政治家と法案については、筆者が過去に講演や小論で紹介したことがありますので、ここでは省きます。この内容だけで一冊の本になる内容ですが、時代の流れの中で、理念は変わらずとも、その内容も変わってきています。いずれ先で著したいと思っておりますが、有言不実行になるかもしれません(瀬良、2009)。